

西部電機株式会社

証券コード 6144

第90期

第2四半期 株主報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで





平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、当社グループの第90期第2四半期連結累計期間  
(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の決算が  
終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

2022年12月

代表取締役社長 一 所 幸 税

## サステナブルな社会の実現と

**Q** 当第2四半期の業績について教えてください。

**A** 受注高は全ての報告セグメントにおいて増加。  
売上高も増加しましたが、原材料価格の高騰等により  
減益となりました。

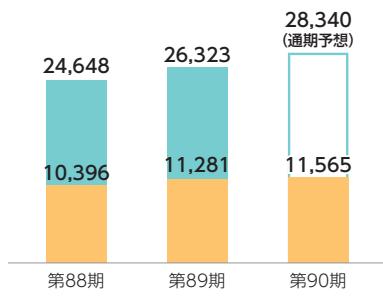
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による景気の落ち込みから持ち直しの動きが見られましたものの、急激な円安による輸入コストの増加により物価高騰の影響が広範囲に渡り発生しました。また、製造業を中心に半導体をはじめとした電子部品の供給不足による生産への影響や原材料価格の上昇、さらには地政学的リスクの懸念による資源価格の高騰等もあり、依然として先行き不透明感が続いております。

このような情勢の中で、2021年度から2023年度までの中期経営計画「チャレンジ280」を策定し、どのような環境下にあっても、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜くべく、全社を挙げて努力してまいりました。さらに、中期経営計画に基づきESG(環境・社会・ガバナンス)重要課題やSDGsに取り組むことで、サステナブルな社会の実現と企業価値

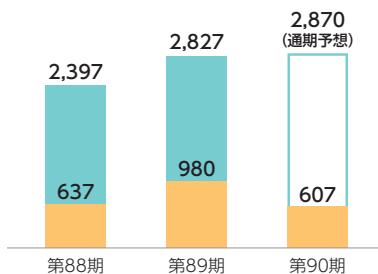
### 業績ハイライト ・ *Financial Highlights*

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円・%)

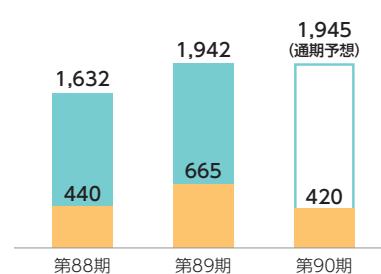
#### 売上高



#### 経常利益



#### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



# 企業価値のさらなる向上を図ります。

のさらなる向上を図っております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は全ての報告セグメントにおいて増加したことにより、170億5千1百万円(前年同期比18.5%増)となりました。売上高は主に精密機械事業が増加して、115億6千5百万円(前年同期比2.5%増)となりました。また、損益においてはコストダウンと経費節減に当社グループ一丸となって注力いたしましたものの、原材料価格や資源価格の高騰等もあり、経常利益は6億7百万円(前年同期比38.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億2千万円(前年同期比36.8%減)となりました。

**Q** 通期に向けてはいかがでしょうか？

**A** 引き続きチャレンジ280を推進し、激しい景気変動の中でも道を切り拓いてまいります。

中期経営計画「チャレンジ280」の2年目である当事業年度は、世界的なインフレやロシアによるウクライナ侵攻、中国の「ゼロコロナ政策」を背景に、先行き不透明な景気状況が続いております。一方、日本国内においては、資材の高騰、円安、エネルギー価格の上昇、電子部品等の供給不足等の様々な不安定要因は

あるものの、生産設備機械の自動化・省人化、公共事業のインフラ需要は、暫く堅調に推移するものと見通しております。激しい景気変動の中にあいながらも、自らの道は自ら切り拓くという心構えと実践を通じて、「チャレンジ280」を推進してまいります。

なお、通期の連結業績見通しとしては、売上高283億4千万円、経常利益28億7千万円、親会社株主に帰属する当期純利益19億4千5百万円を計画しております。

**Q** 株主の皆様へメッセージをお願いします。

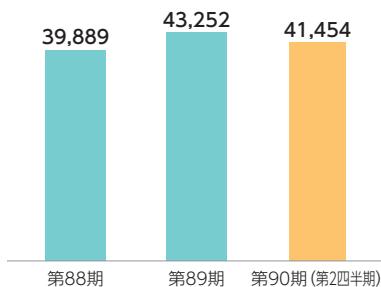
**A** 当第2四半期末の配当金は、1株当たり20円とさせていただきます。

当社は安定的な配当を継続して行うことを基本方針としており、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期の展望、財務状況等を考慮し、これに対応した配当を決定すべきと考えております。

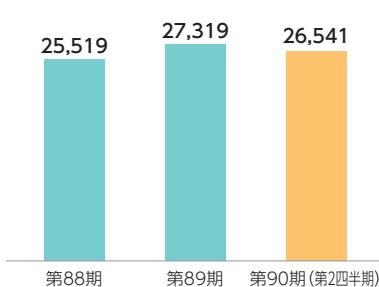
当第2四半期末の配当金につきましては、1株当たり20円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

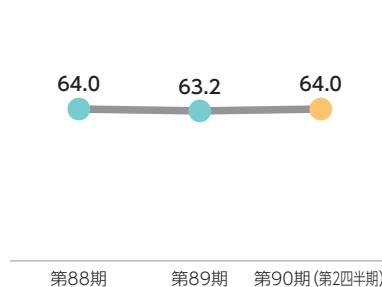
総資産



純資産

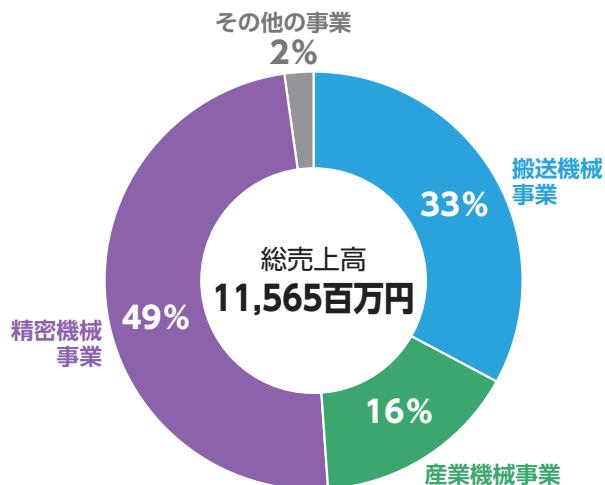


自己資本比率



# 主要な事業別営業の概況 ・ *Operating Overview*

## ● 事業別売上高構成比



## ● 事業別売上高



## 搬送機械事業

売上高 **3,855百万円** (前年同期比1.5%増)

搬送機械事業では、既存顧客からのリピート受注、自動倉庫や生産・物流分野等に、ピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともにサービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。その結果、受注高は既存顧客からの大口物件の成約等があり57億3千万円(前年同期比34.9%増)、売上高は38億5千5百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

### 主要商品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム
- ロボティクス・マテハン

FAシステム(DIOシステム)



ロボティクス・マテハン(トランジックカートローダー)



ロボティクス・マテハン(カートケースローダー)



### TOPICS 大手アパレルメーカー様向けロボティクス・マテハン機器の受注

アパレル用ECサイトを運営する大手アパレルメーカー様より、次世代型センター向けに「オリコン段積み機」及び「ドリーリー供給装置」4セットの受注を頂きました。同センターのコンセプトは、業務自動化の推進で、約30%の省人化を目指しております。

同社は、海外新興企業のロボット等を含む自動化設備の導入も計画されており、その中の積付作業(重労働)自動化カテゴリにおいて、当社ロボマット製品である上記2機種を御採用頂きました。

現在、流通・小売業界における現場の業務負担は、人口減少やコロナ禍の影響で、益々増加しており、自動化・省人化のニーズが急速に高まっています。今後お客様のニーズを捉え、最適提案・開発に取り組み、受注の獲得・拡販を図ってまいります。



## 産業機械事業

売上高 **1,848**百万円 (前年同期比15.5%減)

産業機械事業では、民間需要の掘り起こしやゲート分野を中心とした既存市場におけるシェアアップ、サービス・メンテナンスに注力してまいりました。その結果、受注高は32億2千1百万円(前年同期比5.3%増)、売上高は前年同期にあった大型案件がなかったことから18億4千8百万円(前年同期比15.5%減)となりました。

### 主要商品

■ バルブアクチュエータ ■ ゲート駆動装置



### TOPICS Pumps and Valves Asia 2022出展

タイ/バンコクで開催された東南アジア最大級のバルブ関連機器の展示会「Pumps and Valves Asia 2022」に出展いたしました。コロナ禍の影響により3年振りの開催となりましたが、各国から多くの来場者があり、会場全体で賑わいを見せていました。

今回の出展では、海外で需要の高い小型モデル「Type-007」、大規模ブラックアウトからプラントの重要設備を保護するバッテリーバックアップシステムを搭載した「VM-01(SBS)」等5機種を展示いたしました。ブース来場者数は300名を超え、タイの水道局(MWA・PWA)様やエンジニアリング会社様等から具体的な引き合いを頂くことができました。今後は現地サービスの体制構築・強化にも並行して取り組み、さらなる受注拡大・現地顧客の満足度向上に注力してまいります。



## 精密機械事業

売上高 **5,686**百万円 (前年同期比11.3%増)

精密機械事業では、国内は補助金効果もあり設備投資需要の回復基調が見られ、海外は中国向けワイヤ放電加工機の輸出が前連結会計年度から堅調に推移し、受注高は79億3千1百万円(前年同期比14.9%増)、売上高は56億8千6百万円(前年同期比11.3%増)となりました。

### 主要商品

■ 超精密・高精度ワイヤ放電加工機 ■ 高精度小形NC旋盤  
■ 超精密ワイヤ放電加工機(油仕様) ■ 正面旋盤  
■ 高精度自由形状内面研削盤



### TOPICS INTERMOLD 2022出展

会期:4月20日(水)~4月23日(土) 会場:インテックス大阪

第33回金型加工技術展「INTERMOLD 2022」に出展いたしました。コロナ禍の影響により来場者は減少傾向にありましたが、出展スペースを前回より1.5倍に広げ、高精度・省人化をPRした結果、当社ブースへの来場者は前回比1.2倍となりました。自由形状内面研削盤は「SFG-28HP」「SFG-35P」を展示し、電子部品市場、医療機器・医薬市場、電池市場のお客様より多くの引き合いを頂いております。

また、ワイヤ放電加工機は、大型ストロークにおいてピッチ精度 $\pm 1\mu\text{m}$ という業界最高精度を誇る「SuperMM80B」と、自動化機能を搭載した「IM50B」を展示し、高精度・省人化を求めるお客様から大変高い評価を頂きました。今後も高精度・省人化をコンセプトに、顧客ニーズに沿った製品を開発・販売してまいります。



# 連結財務諸表(要約) • Financial Statements

単位:百万円(金額は単位未満を切り捨てております。)

## ■ 第2四半期連結貸借対照表

科 目	第89期 2022年3月31日	第90期第2四半期 2022年9月30日
<b>資産の部</b>		
流動資産	25,403	24,371
固定資産	17,849	17,082
有形固定資産	10,309	10,647
無形固定資産	70	109
投資その他の資産	7,469	6,326
資産合計	43,252	41,454
<b>負債の部</b>		
流動負債	11,871	11,069
固定負債	4,061	3,842
負債合計	15,933	14,912
<b>純資産の部</b>		
株主資本	20,422	20,464
資本金	2,658	2,658
資本剰余金	2,616	2,616
利益剰余金	15,211	15,253
自己株式	△63	△63
その他の包括利益累計額	6,896	6,077
純資産合計	27,319	26,541
負債純資産合計	43,252	41,454

## ■ 第2四半期連結損益計算書

科 目	第89期第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	第90期第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
売上高	11,281	11,565
売上原価	8,089	8,506
売上総利益	3,191	3,059
販売費及び一般管理費	2,253	2,502
営業利益	938	556
営業外収益	47	57
営業外費用	5	5
経常利益	980	607
特別利益	0	9
特別損失	0	6
税金等調整前四半期純利益	980	610
法人税、住民税及び事業税	173	3
法人税等調整額	141	185
四半期純利益	665	420
親会社株主に帰属する四半期純利益	665	420

## ■ 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第89期第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	第90期第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,433	735
投資活動によるキャッシュ・フロー	△217	△682
財務活動によるキャッシュ・フロー	△313	△395
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,903	△343
現金及び現金同等物の期首残高	10,824	13,654
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,727	13,310

2022年9月30日現在

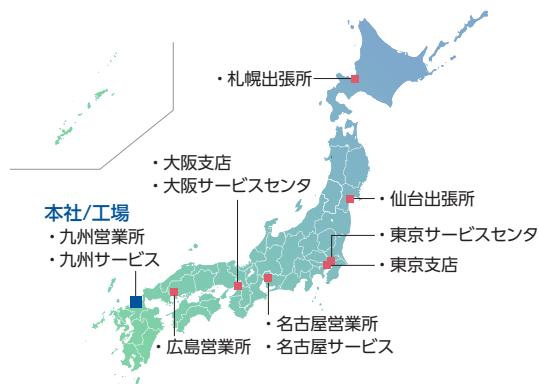
## ■ 会社の概況

商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co., Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	1939年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	534名(連結587名)

## ■ 役員

取締役会長	宮地 敬四郎
取締役社長(代表取締役)	税所 幸一
常務取締役	後藤 俊哉
取締役	佐藤 徳生
取締役	溝田 安彦
取締役	村上 光平
取締役	松下 和宏
社外取締役	井上 信之
社外取締役	馬場 信哉
常勤監査役	大串 秀文
社外監査役	大塚 丈徳
社外監査役	岸川 浩幸

## ■ 事業所



## ■ 株式の状況

発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	2,169名

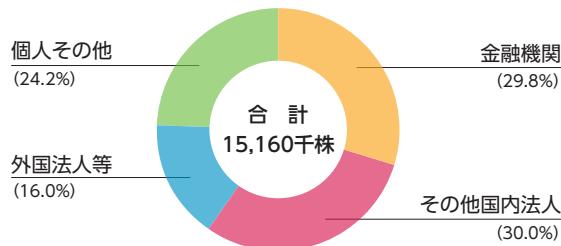
## ■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社安川電機	2,630	17.3
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,684	11.1
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,506	9.9
株式会社豊田自動織機	1,106	7.3
MSIP CLIENT SECURITIES	675	4.4
株式会社三菱UFJ銀行	650	4.2
株式会社福岡銀行	633	4.1
みずほ信託銀行株式会社	626	4.1
株式会社西日本シティ銀行	589	3.8
西部電機従業員持株会	398	2.6

(注)1. 持株比率は自己株式(10,364株)を控除して計算しております。なお、自己株式には株式給付信託(BBT)の信託財産として信託が保有する当社株式53,100株は含まれておりません。

2. シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社から2021年8月10日付で提出され、公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、2021年8月2日現在同社が3,760,000株(保有割合24.80%)を保有している旨が記載されております。しかし、当社として当第2四半期会計期間末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

## ■ 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ( <a href="https://www.seibudenki.co.jp/">https://www.seibudenki.co.jp/</a> )に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

### ホームページのご案内

当社Webサイトでは、事業内容やIR情報などがご覧いただけます。



<https://www.seibudenki.co.jp/>

または、

	証券会社等で 株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ: <a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a>
未払配当金、その他当社株式関係書類のお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせをお願いします。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記みずほ信託銀行までお問い合わせをお願いします。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
ご 注 意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。



## 株主優待制度のお知らせ

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を上向きさせ、より多くの株主様に中長期的に保有していただけることを目的に、株主優待制度を実施しております。

株主優待制度の概要	(1)対象となる株主様	3月末現在の株主名簿に記載された当社株式 1単元(100株)以上保有の株主様。
	(2)優待内容	保有株式数100株以上でフオカード1,000円分を 進呈いたします。
	(3)贈呈時期	定時株主総会終了後の6月下旬の発送を予定して おります。



# 西部電機株式会社

●お問い合わせ先

〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号 TEL:092-941-1500(代表)

